

# 市議会だより くるめ

第190号

平成30年  
11月15日発行

発行：久留米市議会  
編集：議会広報委員会  
久留米市城南町15番地3  
TEL 0942(30)9305  
FAX 0942(30)9720  
E-mail gikai@city.kurume.fukuoka.jp

重要無形文化財 久留米絣  
(公財)久留米絣技術保存会提供



満開のコスモスに祝福されて (10月13日 コスモスフェスティバル)

## CONTENTS [目次] 平成30年 9月定例会号

- 平成30年9月定例会 . . . . 2
- ・市政に対する一般質問 . . . . 4
- ・議案の議決結果と会派ごとの賛否の状況 . . . . 8
- 教えて！くるっぱ！ . . . . 9  
議会への素朴な疑問をくるっぱがわかりやすく解説します
- 常任委員会の活動状況 (7月～8月) . . . . 10
- 特別委員会の活動状況 (7月～9月) . . . . 14



表紙の絣の模様は、毎号変えています。今回の作品名は「コスモスとダリアの花」です。

## 豪雨被害の復旧関連などの補正予算や議員定数を2人削減する改正条例などを議決

9月5日から20日までの16日間の日程で、平成30年第3回定例会を開催しました。

5日の本会議では、市長から平成30年度一般会計補正予算、中高年齢労働者福祉センター条例を廃止する条例など24議案の提案説明がありました。

7日から12日までの本会議では、議員が市政に関する事務の執行状況や将来の方針などについて、市長や教育長に一般質問を行いました。(☞4P)

13日には教育民生常任委員会と建設常任委員会、14日には経済常任委員会と総務常任委員会を開催し、それぞれの委員会に付託された補正予算議案や条例議案などを審査しました。(☞2P)

18日には議会運営委員会を開催し、本会議最終日の議会運営や、市長から追加で提出される議案の取

り扱いを協議しました。

20日の本会議では、市長から、中高年齢労働者福祉センター条例を廃止する条例の議案撤回の申し出があり承認しました。また、各常任委員会の議案審査結果報告があり、全ての議案を可決、または承認し、追加提出された人権擁護委員候補者の推薦などの人事議案についても同意しました。(☞3P)

そのほか、29年度決算に関する議案16件が提出され、定例会閉会后に決算審査特別委員会で継続審査することにしました。

さらに、議会制度調査特別委員会から提出された、次回選挙から議員定数を38人から2人削減して36人にする「久留米市議会議員定数条例の一部を改正する条例」を可決し、第3回定例会を閉会しました。

### 議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。ここでは、主な議案について、その内容と委員会における審査状況をお知らせします。

#### ●第76号議案 平成30年度久留米市一般会計補正予算(第1号) 【付託先：建設常任委員会】

平成30年7月豪雨により被災した道路や河川、公園の復旧に関する費用として、3億7,130万円を増額補正し、また、それらの工事のうち年度内の完了が見込めないものについて、繰越明許費を設定するものです。

委員から「下弓削川には土砂がたまっており、樹木が茂っていてどうにかならないかと思うが、河川のしゅんせつ<sup>\*</sup>についてどのように考えているか」との質疑があり、公園土木管理事務所から「下弓削川については、今回、合川地区において広範囲で浸水被害が発生したことから、しゅんせつの要望を数多くいただいている。そのため、沓型橋より上流の市管理区間については、速やかにしゅんせつを行いたい。また、下流の県管理区間については、しゅんせつと樹木撤去を県にしっかり要望していきたい」との答弁がありました。

※しゅんせつ…川などの底にたまった土砂などを取り除くこと。



下弓削交差点付近の浸水被害

#### ●第94号議案 久留米市議会議員及び久留米市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 【付託先：総務常任委員会】

公職選挙法の一部改正により、市議や市長の選挙において、候補者の政策等を有権者が知る機会を拡充するため、候補者が選挙運動に使用するピラの頒布が可能となったことに伴い、公費負担でピラの作成を行えるようにするため、条例の一部を改正するものです。

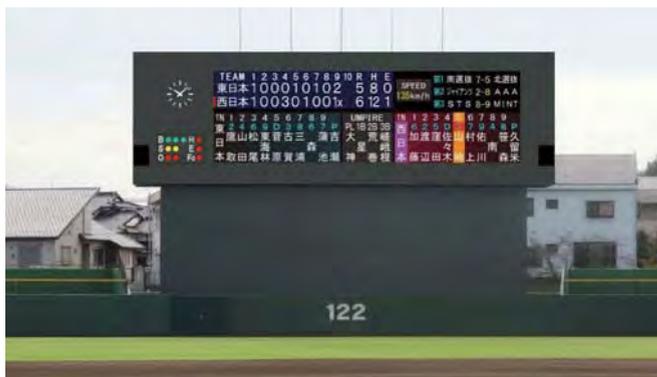
委員から「新人の候補者への周知をどのように考えているのか」との質疑があり、選挙管理委員会事務局より「候補者の方への説明会の中で周知させていただきたいと考えている」との答弁がありました。

可決!

●第84号議案 久留米市野球場スコアボード  
設備改修工事請負契約締結について  
〔付託先：教育民生常任委員会〕

老朽化により不具合が生じている久留米市野球場のスコアボードを全面的に改修するため、工事請負契約を締結しようとするものです。

委員から「この工事の入札の方式は、どのようなものか。また、1億8,900万円という契約金額は妥当なのか」との質疑があり、体育スポーツ課より「入札の方式は、価格だけではなく、市が示した仕様書やさまざまな技術評価点等を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式である。契約金額については、予定価格を2億1,000万円程度と見込んでいたことや提案内容などから、妥当な金額と考えている」との答弁がありました。



LEDを使用した久留米市野球場スコアボードの完成イメージ

否決!

●第96号議案 中高年齢労働者福祉センター  
条例を廃止する条例  
〔付託先：経済常任委員会〕

中高年齢労働者福祉センター（サンライフ久留米）は老朽化が進んでおり、大規模改修が必要であることや、市中央部地域には貸室機能等を有する類似施設が複数あることから、供用を廃止しようとするものです。

委員会では、施設の廃止の方針の決定にあたり、利用者や市議会に対して、事前に十分な説明がなされたのかなどの質疑がありました。

それに対し、商工観光労働部より「施設の老朽化や、近隣に類似施設が複数あることからサンライフ久留米を廃止するという方針を決定した。その後、市議会への報告、市民説明会を実施しており、利用者からの要望等には個別相談会などで丁寧に対応を行ってきた。今後も丁寧な対応を続けていくので、廃止についてご理解をお願いしたい」などの答弁がありました。

その後の討論では、「行財政改革調査特別委員会の提言では、公共施設の量的削減の必要性は認めているが、利用者への配慮を求めており、現時点での廃止の決定は時期尚早である」などの意見がありました。

採決の結果、賛成少数で否決されました。

※この議案については、市長から議案の撤回の申し出があり、9月20日の本会議において撤回を承認しました。

請願

憲法によって保障されている住民の権利であり、国・県・市に対して要望を表明することです。

●新しく出されたもの

件名	請願者	付託先	審査状況・結果
共同ホール廃止撤回、存続について	坂本 よう子 外3人	教育民生常任委員会	継続審査
サンライフ久留米廃止撤回、存続について	坂本 よう子 外3人	経済常任委員会	継続審査
文化センター共同ホール存続について	中島田 良子 外1人	教育民生常任委員会	継続審査

同意した人事案件

市長が推薦する人事には、議会の同意を得なければならないものがあります。なお、敬称は省略しています。

●人権擁護委員

城島町 高口 久            城島町 稲益 都美子  
北野町 坂本 光夫

堺 陽一郎議員が逝去

堺陽一郎議員が9月25日に逝去されました。

氏は、旧田主丸町議を経て、合併後の久留米市議として、総務常任委員会委員長を初め議会の要職を歴任されるなど、久留米市の発展に貢献されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

久留米市  
イメージキャラクター

くるっぱ



一般質問とは、議員が市長などに対して、提案されている議案とは関係なく、市政全般について事務の状況や今後の方針などを問うたり、説明を求めたりするものだよ。

## 市政に対する 一般質問

スマホなどをお持ちの方は、各議員の顔写真の横のQRコードを専用アプリで読み取ると、本会議での質問の録画映像をごらんいただけます。



陣屋川・大刀洗川流域の  
治水対策を

明政会議員団 吉富 巧

**問** 平成30年7月豪雨は久留米市内に大きな被害をもたらした。北野地域では内水氾濫<sup>\*</sup>により多くの浸水被害が発生しており、また、農産物に関しては、平成28年から3年連続で被害が発生している。陣屋川・大刀洗川流域の治水対策について、どのように考えているか。

**答** 陣屋川・大刀洗川については、これまでも、国・県に対し、河川改修や排水ポンプの能力アップ、新設の要望を重ねてきた。今回の被害を受け、国には被害軽減に向けた対策の要望を強く行い、県にはライブカメラや水位計の設置の要望を行った。

今後は、総合的な治水対策について、国・県・関係自治体と連携を図りながら取り組み、安全に安心して暮らせるまちづくりの実現に努めていく。

◎その他の質問…「避難所開設及び運営について」など

※内水氾濫…大雨により筑後川などの水位が上昇して、支川や排水路に流入した雨水が流れず、道路や宅地などに溢れ出すこと。



児童生徒の学習意欲を高める  
ための取り組みは

明政会議員団 永田 一伸

**問** 学習意欲に関するアンケートによると、本市では、学校の授業以外に1時間以上学習する児童生徒と、自尊感情を持つ児童生徒の割合は、小中学校とも年々増加しており、学校・家庭・地域の努力が一定の成果を上げていると考える。児童生徒の学習習慣への意識や自尊感情を高め学習意欲につなげるため、今後どのような取り組みを進めていくのか。

**答** 本市では、学ぶ楽しさを感じさせる授業づくりを各学校に指導しており、今後さらにその徹底を図っていく。授業以外では、PTA等で進めている<sup>\*</sup>スローメディアなど、学校・家庭・地域が連携した取り組みを支援していく。また、授業や学校行事などの中で、児童生徒一人一人に役割や発表の機会が与えられることを通して、きめ細やかな自尊感情の育成が行われるよう、学校への指導に努めたい。

◎その他の質問…「農業の担い手の育成について」など

※スローメディア…テレビやパソコン、携帯などの映像メディアに接する時間を減らす取り組みのこと。家庭での会話する時間をふやし、本や新聞などの活字メディアに接する機会を設けることも取り組みの目的になっている。

## サンライフ久留米の存続を



日本共産党議員団 甲斐 征七生

**問** 公共施設総合管理基本計画には、「今後活用が見込める施設については、長寿命化を推進するとともに、指定管理者制度の導入等により施設運営コストを縮減する」とある。サンライフ久留米は、今後も活用が見込め、指定管理者制度も導入していることから、存続すべきと思うが、市長の見解を伺いたい。

**答** 基本計画は、今後の人口減少、少子化等の時代背景のもと策定しており、統廃合等による施設の保有量縮減は避けて通れない課題であると認識している。サンライフ久留米については、老朽化による大規模改修が必要な状況にある中で、近隣に類似施設が存在する状況であることから、基本計画の方針に基づき廃止の方針を決定したところである。

今後も、利用者説明会等でいただいたご意見等も踏まえて対応していきたい。

◎その他の質問…「内水氾濫対策について」など

## 自主防災組織と連携した避難所運営を



緑水会議員団 塚本 篤行

**問** 災害時に指定避難所以外に避難している住民の状況把握や対応を含め、地域の自主防災組織と市の連携を密にすることで、避難所を円滑に運営できると考える。そのため、自主防災組織の充実、強化が必要と思うが、自主防災組織の育成をどのように考えているのか。

**答** 本市では、地域と連携した避難所運営を進めている。今年度22校区で実施している地域との協働による避難所運営を全校区でできるよう、先進的な校区の取り組み事例を防災リーダー研修会で紹介するなどの取り組みを行いたい。また、自主防災組織の育成のため、自主防災や避難所運営に関する校区独自のマニュアル作成支援に取り組み、防災意識・地域防災力の向上に努めていきたいと考えている。

◎その他の質問…「鳥飼校区内の池町川周辺の浸水対策について」など

## 幼児教育・保育の無償化による保育ニーズの想定は



明政会議員団 山村 太二

**問** 来年10月に実施予定の幼児教育・保育の無償化については、抜本的な制度改革がなされるため、非常に大きなターニングポイントであると考えている。本市においてはどのような変化が生じると想定しているか伺いたい。

**答** 今年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」では、来年10月から幼児教育・保育の無償化の全面実施を目指している。報道機関が実施した調査によると、多くの自治体が無償化により保育施設への入所希望者が増加すると予想している。また、別の調査でも、先行して無償化を実施した自治体では保育希望者が増加したとの報道がある。

本市としても、保育ニーズが高まることは想定されるが、現時点で具体的な数量などの想定は困難であると考えている。

◎その他の質問…「保育利用の権利について」など

## 屏水中学校東側の調整池の運用は



公明党議員団 山下 尚

**問** 平成28年に屏水中学校東側に大雨時の雨水を一時的に貯める調整池が完成した。しかし、昨年の九州北部豪雨の際は、巨瀬川と不動川の合流部分にある赤岩樋門※ひもんが閉められた後も、調整池には全く雨水が流れ込まなかったため、藤町川周辺の田畑等が冠水した。樋門が閉められた時点で、不動川の雨水を強制的に調整池に流入させられないか。

**答** 屏水中学校東側の調整池は、集中豪雨時に不動川の流下能力を上回る流量を一時的に貯留し、下流に位置する善導寺地区の浸水被害軽減を図る目的で県が整備したものである。九州北部豪雨の際は、対象流域の雨量が少なく調整池に雨水は流入していないが、今年の7月豪雨では、雨水が流入し、浸水被害軽減に大きく寄与したと考える。調整池の運用については、今後、管理者の県と協議調整していきたい。

◎その他の質問…「河川の管理について」など

※樋門…堤内地の雨水などが川や水路を流れ、より大きな川に合流する場合、合流する川の水位が洪水などで高くなった時に、その水が堤内地側に逆流しないように設ける施設で、堤防の中にコンクリートの水路を通し、そこにゲートを設置するものを指す。



### 介護職員の人材確保の 取り組みは

久留米たすき議員団 松岡 保治

**問** 現在、介護職員が不足しており、医療・介護のサービスの質の確保の観点からも、職員確保のための取り組みが重要であると考えます。今後さらに介護需要の増大が想定される中、人材確保にどのように取り組んでいるのか。

**答** 良質な介護サービスを安定的に提供していくためには、介護人材の確保は最重要課題の一つであると認識している。国は、介護人材確保の総合的な対策として、<sup>※</sup>介護職員処遇改善加算のさらなる拡充を図っており、本市では、より多くの事業者がこの加算を算定できるよう丁寧な説明や助言を行っている。

このほか、介護のイメージアップを図るため、介護職員向けの各種研修や介護職員と学生との交流事業等に取り組んでおり、介護職員の確保や定着に向け、今後もこれらの取り組みを継続的に実施したい。

◎その他の質問…「西鉄久留米駅東口について」など



### 災害ボランティアリーダー との連携は

明政会議員団 石井 秀夫

**問** 被災地で災害ボランティア活動を行う中で、大変な作業もあり、作業グループを束ねるボランティアリーダーの重要性を痛感した。市民が災害ボランティア活動を行う際に、その活動を熟知したボランティアリーダーがいることで、活動を安全で効率的に行うことができると思うが、そのような人材の把握や連携をどのように考えているのか。

**答** 本市の災害ボランティアに参加されていた方には、継続的に被災地で活動を続けている方も多く、さまざまな機会を捉え、被災地での活動内容の話伺っている。今後、社会福祉協議会と連携し、このような方々と災害発生時に迅速な連携が取れる制度や、ボランティアの方々が被災地で培われたノウハウなどを生かせる仕組みづくり等を検討していきたい。  
◎その他の質問…「高良山50代座主寂源僧正と高良山十景について」など



### 企業がみずから行う防災や 減災対策への支援を

緑水会議員団 森崎 巨樹

**問** 本市では、平成30年7月豪雨で、店舗や工場など100以上の事業所が被害を受けた。事業所においても、普段からの防災や減災対策への取り組みが重要であり、それらを促進するため、浸水防止柵の設置等の経費に対する補助や、機械等の浸水被害対策などのアドバイスも必要と思うが、考えを伺いたい。

**答** 普段からの防災や減災の備えは大変重要であり、それらの取り組みが円滑に進むよう、出前講座等を活用した情報提供のほか、寄せられる相談や問い合わせにしっかりと対応していきたい。

一方、みずから行う災害への備えは全市民共通の課題であることから、経費等への支援については、公平性の観点からも慎重な検討を要すると考えている。今後も部局横断的に課題を共有し、先進自治体の情報収集に努めながら検討を重ねていきたい。

◎その他の質問…「校区コミュニティについて」など



### 身近な公園の充実を

明政会議員団 権藤 智喜

**問** 地域の身近な公園は、子どもたちの遊び場だけでなく、高齢者など地域の方の憩いや健康づくりの場にもなる。また、災害時には一時的な避難場所としても活用できる。しかし、適当な用地がないなどの理由で、公園が整備されていない地域も多いと思う。地域の公園の整備について、どう考えているのか。

**答** 本市では、身近な地域の公園として<sup>※</sup>街区公園の整備を行っている。街区公園は、さまざまな方が憩い、楽しむことができる都市空間であり、地域コミュニティの活性化を進めるうえで重要な役割を担っていると認識している。しかしながら、整備が十分でない地域も存在しているため、平成30年6月に策定した緑の基本計画2018に示した公園の整備方針に基づき、計画的に進めたいと考えている。

◎その他の質問…「久留米インターチェンジ周辺の交通渋滞について」など

※介護職員処遇改善加算…介護職員の安定的な処遇改善を図るための環境整備とともに、介護職員の賃金改善に充てることを目的に創設された加算のこと。

※街区公園…主として街区内に居住する方の利用に供することを目的として設置している公園で、面積0.25ヘクタールを目安に配置する公園のこと。

## 過去の水害を教訓にした 浸水対策を



みらい久留米議員団 古賀 敏久

**問** 本市のまちづくりを進めていくにあたって、過去の災害からどう学んで、対策をしていくのかが非常に重要と考える。市長は、今回の水害を教訓として、今後の市街地を中心とした浸水対策をどのように進めていくのか。

**答** 本市では、これまでの浸水被害実績等をもとに諏訪野地区や東櫛原地区などで対策を行ってきた。しかし、まだ多くの浸水地区があり、対策には長い期間と多額の費用が必要なため、対策をいかに効果的かつ効果的に実施していくのが課題と考えている。

このような課題に対応するため、これまでの浸水状況等を勘案した雨水管理総合計画を、今年度に策定することにしていく。この計画をもとに効果的で効果的な浸水対策事業の推進を図り、安全に安心して暮らせるまちづくりの実現に努めていきたい。

◎その他の質問…「会計年度任用職員制度について」

## プラスチックごみへの認識は



公明党議員団 太田 佳子

**問** 近年プラスチックごみによる海洋汚染に関心が集まり、世界的な問題として海外では規制する動きも活発化している。市長は、プラスチックごみ問題をどう認識しているのか。また、本市では平成28年から容器包装プラスチックのリサイクルを開始したが、その取り組みの成果について伺いたい。

**答** プラスチックごみについては、国内でも2019年までに廃プラスチック対策の国家戦略を策定する方針であるなど、極めて重要な課題と認識している。容器包装プラスチックの分別収集については、収集量も増加し、焼却量の減少にも貢献している。今後も、環境交流プラザでの取り組みなどのさまざまな機会を利用し、環境啓発・教育に努めながら、ごみ減量意欲が湧くような仕組みづくりも検討していきたい。  
◎その他の質問…「高齢者の肺炎球菌予防接種について」など

## QRコードで議会の録画映像へ 簡単アクセス！



今号から、一般質問の掲載ページに、本会議での質問時の録画映像を視聴できるQRコードを、質問議員ごとに添付しています。

スマホやタブレット端末の専用アプリで、映像をごらんになりたい議員の顔写真横のQRコードを読み取ると、議会中継サイト内の該当ページにアクセスできます。録画映像へのアクセスが容易となることで、市議会の活動がより多くの方に届くことを期待しています。

QRコードを読み取るためには、アプリが必要です。なお、視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

### ■視聴方法■

1. アプリを起動してスマホやタブレットでQRコードを読み取ってください。
2. 画面上にURL（アルファベットの文字列）が表示されますので、クリックしてください。

※機種やアプリによって操作方法は異なります。

## 議員が寄附すること、議員に寄附を 求めることは禁止されています

公職選挙法では、選挙区内の者に対し、次のようなことを禁止しています。

- 議員や後援会が、寄附をしたり有料の挨拶広告を出すこと
- 議員や後援会が、お中元やお歳暮を贈ること
- 議員が、年賀状や暑中見舞いなどの挨拶状を出すこと（自筆の答礼は除く）
- 市民や団体が、議員に寄附などを求めること

問い合わせ先  
選挙管理委員会事務局  
TEL 0942-30-9238  
FAX 0942-30-9752



# 議案の議決結果と会派ごとの賛否の状況

議案名	会派名	明政会 (13)	※1 たすき (7)	公明党 (6)	緑水会 (5)	みらい (3)	共産党 (2)	無所属 (1)	議決結果
第74号	交通事故による損害賠償の専決処分について	○	○	○	○	○	○	○	承認
第75号	交通事故による損害賠償の専決処分について	○	○	○	○	○	○	○	
第76号	平成30年度久留米市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
第77号	平成30年度久留米市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	
第78号	平成30年度久留米市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	
第79号	平成30年度久留米市下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	
第80号	浮羽老人ホーム組合の解散について	○	○	○	○	○	○	○	
第81号	浮羽老人ホーム組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	
第82号	浮羽老人ホーム組合の解散に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	
第83号	交通事故による和解契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	
第84号	久留米市野球場スコアボード設備改修工事請負契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	
第85号	篠山小学校校舎・屋内運動場改築工事請負契約の一部を変更する契約について	○	○	○	○	○	○	○	
第86号	篠山小学校校舎・屋内運動場改築電気設備工事請負契約の一部を変更する契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	
第87号	篠山小学校校舎・屋内運動場改築機械設備工事請負契約の一部を変更する契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	
第88号	京町小学校屋内運動場棟改築工事請負契約の一部を変更する契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	
第89号	財産（消防ポンプ自動車）の取得について	○	○	○	○	○	○	○	
第90号	交通事故による損害賠償について	○	○	○	○	○	○	○	
第91号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	
第92号	交通事故による損害賠償について	○	○	○	○	○	○	○	
第93号	久留米市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
第94号	久留米市議会議員及び久留米市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
第95号	久留米市養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
第97号	訴えの提起の専決処分について	○	○	○	○	×	×	×	承認
第100号	久留米市表彰条例に基づく表彰について	○	※2	○	○	※3	○	○	同意
第101号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	
発議第1号	久留米市議会議員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	×	可決

◎第96号議案「中高年齢労働者福祉センター条例を廃止する条例」が提出されていましたが、市長から議案の撤回の申し出があり、9月20日に撤回を承認しました。

会派名の（ ）内の数字は所属議員数です。ただし、緑水会は議長を除きます。議長は表決に加わりません。

賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。

会派名：明政会（明政会議員団）、たすき（久留米たすき議員団）、公明党（公明党議員団）、緑水会（緑水会議員団）、みらい（みらい久留米議員団）、共産党（日本共産党議員団）、無所属（無所属クラブ）

※1 欠席者が1人いたため、全議案で表決に参加したのは6人となります。

※2 久留米たすき議員団は、賛成5人、欠席1人、除斥（利害関係のある議案の審議には参加できないこと）1人。

※3 みらい久留米議員団は、賛成2人、除斥1人。

議員個人の賛否の状況は、ホームページでごらんいただけます。

久留米市議会 議案と結果

検索



クリック

## 行政視察報告

委員会が行政視察を行いました。詳しい内容は市議会ホームページをごらんください。

委員会名	期間	視察先	視察の主な項目
総務 常任委員会	7月4日 ～6日	旭川市	移住定住促進の取り組みについて
		札幌市	魅力都市さっぽろシティプロモート戦略について
教育民生 常任委員会	7月2日 ～4日	川崎市	医療的ケア児支援強化について
		岩見沢市	北海道大学との連携による健康コミュニティづくりについて
			市ICT戦略に基づく遠隔医療相談について
経済 常任委員会	7月3日 ～5日	八戸市	第2期八戸市中心市街地活性化基本計画について
		盛岡市	食と農のバリューアップ推進戦略について
建設 常任委員会	7月9日 ～11日	福島市	再生可能エネルギーの取り組みについて
		山形市	中心市街地活性化について
議会運営 委員会	7月10日 ～12日	上越市	議会運営について、議会改革について
		横須賀市	
広域連携推進調査 特別委員会	8月24日	筑後市	広域観光の取り組みについて
		みやま市	
議会広報 委員会	8月7日 ～9日	坂出市	議会広報の取り組みについて
		高松市	
		高知市	

## 教えて！くるっぱ！



### ～請願・陳情とは～

市政などについての希望や要望を市議会に申し出る制度として、請願・陳情があるよ。だれでも提出できるけど、文書での提出が必要だよ。

請願の提出には、趣旨に賛同する紹介議員1人以上の署名・押印も必要だよ。陳情の提出には紹介議員は不要だよ。

### 【記載事項等と提出の流れ】

- ①請願・陳情の趣旨は、日本語で簡単明瞭に記載してください。
- ②提出者の住所及び氏名（法人・団体の場合は、その所在地・名称・代表者名）、提出年月日を記載し、押印の上、議長宛てに提出してください。

### ｜請願審査の流れ

#### 受理

議長が請願を受理

#### 本会議（○月定例会）

請願が、委員会に付託されます。本会議が開催されていない期間に委員会を開催して審査をするために「継続審査」を議会で決定します。

#### 常任委員会

本会議で付託された請願を審査し、委員会として、採択か不採択の決定をします。

#### 本会議（△月定例会）

委員長が委員会での審査結果を議長に報告し、市議会として、採択か不採択の決定をします。

### ｜陳情の取り扱い

提出された陳情は、その写しを所管の委員会へ送付して、委員長が委員会で回覧するよ。委員会での審査は行わないよ。

# 常任委員会の活動状況（7月～8月）

## 総務常任委員会

▶ 7月26日

▷ 久留米市広報新戦略の策定について

日本一住みやすいまち久留米の都市ブランドを実現するため、質の高い効果的な広報を目指して策定する広報新戦略について、<sup>\*</sup>広報課から説明を受けました。

**Q** 久留米弁を使った広報は考えられないか。

**A** 方言は、その土地ならではのものであるし、親しみやすさなどを醸し出す一つの要素であると考えている。そのため、公式フェイスブックでは、すでに久留米弁での記述もしており、今後も、効果的に久留米弁を使いながら発信していきたい。



広報くるめ10月15日号

**Q** 災害時の<sup>\*</sup>SNSを使っでの広報、特にツイッターを使っでの広報が大変有効ということだが、本市でも活用を検討できないか。

**A** 7月の豪雨のときは、フェイスブックで情報を発信し、タイムリーな情報提供ができたと考えている。ただし、ツイッターを利用されている方もいるので、今後は、フェイスブックとツイッターの両方で情報発信できるように検討していきたい。

<sup>\*</sup>広報課の名称は、組織改正により10月1日から「広報戦略課」になっています。

<sup>\*</sup>SNS…ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略称。フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど、インターネットでコミュニケーションを促進し、人と人のつながりを支援するサービスの総称。

▶ 8月27日

▷ 久留米市人権・同和問題市民意識調査結果分析から見てきたもの

平成29年11月に実施した久留米市人権・同和問題市民意識調査の結果分析について、人権・同和对策課から説明を受けました。

**Q** 就職差別防止のための全国統一応募用紙の作成や戸籍・住民票の閲覧制限など、同和問題の解決の取り組みから生まれた制度に関する認知度が前回調査より低くなっていることを、どう認識しているのか。

**A** これらの制度は、同和問題だけでなく社会全体の問題を解決し、全ての人の権利を守ることにもつながっている。このことを知ることが同和問題を自分のこととして捉えていただく契機になると考えており、さらに啓発を進めていきたい。

**Q** 同和問題を知らなければ差別しないという「寝た子を起こすな論」を払拭するような啓発について、どのように考えているのか。

**A** 同和問題を正しく知ること、差別はいけないことだと理解し、納得した上で、差別をなくす行動に移せるような地域社会になる必要がある。そのため、今後も研修の中で、寝た子を起こすな論では差別はなくならないということをしっかりと伝え、同和問題の解決に取り組んでいきたい。



8月に久留米シティプラザで開催した人権・同和教育夏期講座

## 教育民生常任委員会

### ▶ 7月27日

#### ▷ 久留米市立小学校小規模化の対応について

少子化の進行により児童数が減少している状況を踏まえ、小学校の小規模化へのこれまでの対応経過及び今後の対応を検討していく上での基本的な考え方などを定める方針案について、学校教育課から説明を受けました。

**Q** 全市的に児童数の減少が予想される中で、現在の標準規模校も将来的に小規模校になる可能性がある。そのため、小規模化対応方針案の説明は、小規模化が進んでいる校区だけではなく、全校区で実施すべきではないか。

**A** 小学校の小規模化対応は、丁寧に進めたいと考えているので、小・中学校PTA連合協議会やまちづくり連絡協議会などに対して説明を行うことを検討したい。

**Q** 教育委員会では、複式学級の解消から取り組むとのことだが、1学年1学級でも、人間関係が固定化しやすいなどの教育上の課題がある。そのため、1学年2学級以上の学校規模にしていくことにも取り組むべきではないか。

**A** 一般的には、さまざまな考え方や価値観に触れ、お互いを認め合い切磋琢磨していくことにおいて一定の人数が必要とされている。そのため、まずは、複式学級の解消をさせていただきたいと考えている。

※標準規模校…小中学校では、学級数が12学級以上18学級以下の学校のこと。

※小規模校…標準規模校よりも規模の小さな学校のこと。

※複式学級…異なった学年の児童生徒で編成される学級のこと。一人の教員が、同一教室内でそれぞれの学年の児童に異なる学習内容を指導する授業を行うため、直接指導の時間が半分程度に制約されるなどの課題が生じる。

### ▶ 8月28日

#### ▷ 生活困窮者自立支援制度について

生活保護者や非正規労働者の増加などの社会的背景をもとに制定された生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者の自立促進や生活保護に至る前の早期的な支援をその目的とする生活困窮者自立支援制度について、生活支援第2課から説明を受けました。

**Q** 自立支援制度における支援の質を保つためには、各事業の委託先の法人との信頼関係が必要である。そのためには、課題の共有や、行政への提案を積極的に受けていくことが重要と思うが、どう考えているのか。

**A** 現在は、月例で委託先の法人との報告会や意見交換を行っている。今後、制度を充実したものにしていくために、業務内容の見直しを行う際にも、そういった機会を設けたい。

**Q** 市庁舎3階にある生活自立支援センターでは、受け付けして相談に至るまでの期間が長くなっている。また、新規の相談者に加え、継続の相談者にも寄り添っていくと、相談支援員が受け持つ件数も増加していくと思うが、この現状について、どう考えているか。

**A** 現在平均して1週間程度待っていただいております。家計相談が必要な場合は、相談支援員と家計相談支援員の2人に対応するため2週間程度かかっている。この期間については課題と認識しており、相談支援員の増員を視野に入れながら事業拡大を検討している。



市役所3階の生活自立支援センター

# 常任委員会の活動状況（7月～8月）

## 経 済 常 任 委 員 会

### ▶ 7月26日

#### ▷ バイオ産業の振興について

本市では、県南地域が農産物の生産が盛んで食品製造業が多いことから、次世代の成長産業であるバイオ産業の振興に取り組んでおり、県と連携して福岡バイオバレープロジェクトを推進しています。具体的には、「久留米リサーチ・パークのバイオ関連施設を活用した事業化支援」、「大学や理化学研究所との共同研究の推進」などにより、バイオ技術による新産業の創出、関連企業や研究機関の集積を促し、企業の成長による新たな雇用の創出を目指しています。

今回、本市と県が出資し、バイオ産業振興の中核的な支援を行う機関として設立した久留米リサーチ・パークと、そこに入居して医薬品等の開発などを行っているバイオベンチャー企業の現地調査を行いました。



久留米リサーチ・パーク（百年公園）



研究開発棟のオープンラボを調査

### ▶ 8月27日

#### ▷ 久留米つつじの振興について

「市の花」である久留米つつじの現状と振興のための各種事業、今後の取り組みについて、みどりの里づくり推進課から説明を受けました。

**Q** 東京のアンテナショップで平成30年3月に久留米つつじのPRイベントを実施しているが、どのような成果があったのか。

**A** PRイベントでは、久留米つつじの展示、販売、育て方相談を行った。来場された方には、大変きれいな花であるとの評価をいただいた。また、実施したアンケート調査では、小ぶりで室内に置くインテリアのような鉢物が好まれることがわかったので、新たな商品開発に生かせるよう、関係団体と協議を行っている。

**Q** 久留米つつじの振興に対する市の役割についてどう考えているのか。

**A** まずは、久留米つつじを絶やさないとするのが大きな役割と考える。そのために、消費者ニーズを分析し生産農家に伝え、久留米つつじの生産につなげるとともに、世界つつじセンターを活用して栽培技術を伝えることも必要と考えている。また、久留米つつじの歴史を伝えていくため、小学校のくるめ学の授業で学習する際の支援を行っている。



久留米市世界つつじセンター（山本町）

## 建設常任委員会

▶ 7月30日

### ▶ 久留米市災害廃棄物処理計画（案）について

本市が被災した場合を想定した災害廃棄物処理について必要となる事項をまとめた久留米市災害廃棄物処理計画（案）について、施設課から説明を受けました。

**Q** ※住民専用集積所は、公園などを考えられているが、大規模な地震が発生し、公園に市民が避難するなど集積所として活用するのが難しい状況になった場合は、どう考えているか。

**A** 候補地については、避難所に指定されていない公園等の公有地を選定している。ただし、災害発生時には市民の避難も考えられるので、現地の状況に応じて候補地以外の公有地へ設置することも、今後作成するマニュアルの中で検討していきたい。

※住民専用集積所…被災家屋から排出される一般廃棄物を自己搬入する仮置き場として、被災地区に近い公有地等に設置するもの。

**Q** 平成30年7月豪雨における災害廃棄物の処理などの中で見えてきた課題は何か。

**A** 宮ノ陣クリーンセンターの広場を廃棄物の仮置き場としたが、十分な要員を配置することができず、想定どおりの分別ができなかったため、その後の処理に時間を要した。

また、事業者の被害が多く、多量な廃棄物の処理の調整に労力を要した。これらのことは、今後作成するマニュアルにしっかり織り込んでいきたい。



宮ノ陣クリーンセンター広場に仮置きされた災害廃棄物

▶ 8月23日

### ▶ 久留米市地球温暖化対策実行計画(案)について

地球温暖化対策の新しい国際的枠組みであるパリ協定の発効、国の地球温暖化対策計画策定等の国内外の状況を踏まえ、本市において新たに策定する久留米市地球温暖化対策実行計画（案）について、環境政策課から説明を受けました。

**Q** 環境問題に関して、専門的知識をもった人材の確保が課題と聞かれますが、本市の現状はどのようなようになっているか。

**A** 環境啓発事業を実施する中で、講師やサポーターなどが不足している。そのため、市民の方に環境まなびのまちづくり事業のスタッフなどとして、実際に活動していただきながら、人材の発掘・育成を図っていきたい。

また、子どもを対象にしたエコ実験パフォーマンスショーなど、環境や科学に興味を持てる啓発を実施していきたい。

**Q** 計画の内容を市民に認識していただき、実際に環境に配慮した活動につなげていくことが重要と考えるが、広報をどのように行っていくのか。

**A** 環境部の広報紙「e c o c o（エココ）」への掲載や、環境フェア、環境ビジネスセミナーなどさまざまな啓発事業の中で、市民や事業者にも周知を図っていく。



エコ実験パフォーマンスショーで科学マジックに興味津々の子どもたち

## 特別委員会の活動状況（7月～9月）

特別委員会とは、特定の案件を審査するために設置された委員会のことをいい、議会の議決を経て設置されます。

### 議会制度調査特別委員会

#### ▶ 7月13日

##### ▷ 議員定数の見直しについて

直近2回の議員定数の削減に関する協議内容などについて議会事務局から説明の後、会派ごとの協議結果報告があり、全会派において削減の方向性が確認できたので、今後具体的な削減数の協議を行うこととしました。

#### ▶ 7月27日

##### ▷ 議員定数の見直しについて

議員定数の算出手法などについて議会事務局から説明の後、会派ごとの協議結果報告があり、委員間で協議を行いました。

#### ▶ 8月10日

##### ▷ 議員定数の見直しについて

これまでの議論を踏まえ、再度会派で協議された削減数の案及びその理由について報告がありました。最小限度の減、3人減、4人減、2～6人減と会派ごとに提案された数が異なるため、

今後、正副委員長で調整を行い、次回、正副委員長案を提示することとしました。

#### ▶ 9月5日

##### ▷ 議員定数の見直しについて

正副委員長案として見直し後の議員定数を現在の38人から2人削減し36人とする案が提示され、全会一致で了承されました。

### 広域連携推進調査特別委員会

#### ▶ 7月30日

##### ▷ 広域連携推進に関する調査について

5月に委員会で実施した、うきは市、柳川市への行政視察と、うきは市議会議員との意見交換を踏まえて、各委員が筑後地域との観光を中心とした広域連携について意見を発表し、それをもとに議論を行いました。

今後、さらに筑後地域の自治体の現地調査などを行い、観光を中心とした筑後地域との広域連携についての議論を深めていくこととしました。

## 次回の定例会（予定）のお知らせ

今回は、12月3日（月）から17日（月）の期間で開催する予定です。全ての日程の開催時刻は、午前10時を予定しています。なお、日程は予定ですので、都合により変更されることがあります。

- 12月3日（月）… 議案の提案説明など
- 5日（水）～10日（月）… 一般質問など
- 11日（火）… 常任委員会（教育民生・建設）
- 12日（水）… 常任委員会（経済・総務）
- 17日（月）… 審議採決など

本会議は自由に傍聴できます。市庁舎20階東側の「傍聴席入口」からお入りください。

※本会議はインターネットで生中継しており、スマホやタブレットでも見ることができます。



久留米市議会HPの  
議会中継のQRコード

## 本会議の傍聴時の手話通訳・要約筆記

本会議を傍聴される際に、手話通訳や要約筆記を希望される方は、予約が必要ですので障害者福祉課へご連絡ください。

なお、日程によっては、手話通訳者や要約筆記者の確保ができないことなどにより、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先 障害者福祉課  
TEL 0942-30-9035  
FAX 0942-30-9752

## ◆ 編集後記 ◆

市議会だよりは本号が年内最後の発刊となります。酷暑の夏が終わり、秋の深まりを感じるや否や、もうそんな時期かと思うと、時の過ぎ行く早さを痛感します。一日一日を大切にしなければなりませんね。

ある作家が「人生とは今日一日のことである」との言葉を残しています。久留米市議会も今日一日を無駄にせず邁進して参ります。市民の皆様の御指導をお願いいたします。

議会広報委員会

「市議会だよりくるめ」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。